



# 壬生野地域防災計画



2025（令和7）年3月1日  
壬生野地域まちづくり協議会

## 目標

災害に強い壬生野地域を目指す！

## 想定される災害



- ・地震（頓宮断層地震 震度6強 南海トラフ地震 震度6弱）
- ・台風や豪雨による洪水・土砂災害
- ・地震や大雨などによる停電・断水等のライフライン途絶

## 地域の課題

- ・行政や関係団体との連携が必要。（幼少期からの防災教育など）
- ・個人や地域での備蓄が不足しているのではないか。
- ・訓練参加者を増やしていく必要がある。
- ・地域（各地区）で安否確認ができるか。（高齢者や独居者のケアなど）
- ・地域で避難所の運営ができるか。

## 今後の取組み

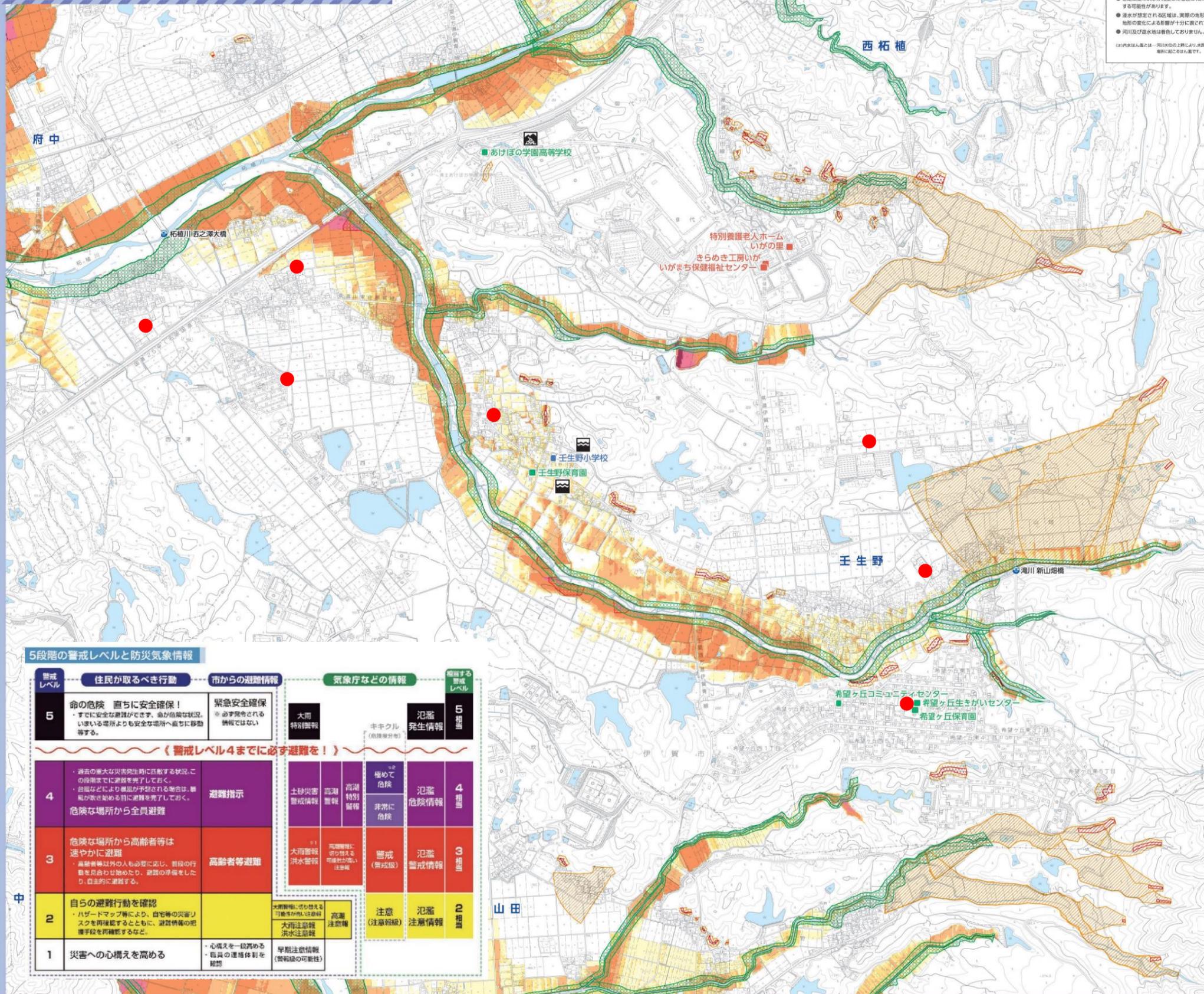
- ・行政や関係団体と連携しながら防災の取組みを進めます。
- ・個人や地域での防災備蓄を進めます。
- ・毎年訓練を実施し、多くの人に参加してもらう機会を作ります。
- ・地域で高齢者や独居者などのケアができるように検討します。
- ・地域で避難所を運営できるよう、ルールなどを検討します。



# 伊賀市 水害ハザードマップ

壬生野地区

発行：伊賀市防災危機対策局 TEL:0595-22-9640 令和5年1月作成



**<ハザードマップの説明>**  
 ●このハザードマップは、河川が氾濫したと想定した場合に想定される浸水区域と浸水の深さを色分けして記載しています。  
 ●浸水の深さは、想定される最大規模の降雨により、河川が氾濫した場合に想定される浸水の状況をシミュレーションにより求めたものです。  
**<注意点>**  
 ●このシミュレーションでは、河川が洪水・増水した場合を想定しています。支川、ため池のはん流、想定を超える降雨、内水はん流(山)等を考慮していませんので、浸水が想定される区域に含まれない場所でも浸水する場合があります。浸水したとしても浸水の深さや範囲が異なる場合があります。  
 ●想定以上の雨水が発生した場合は、このハザードマップで浸水の区域に含まれない場所でも浸水する可能性があります。  
 ●浸水が想定される区域は、実際の地形や構造物の状況を考慮して色分けされています。小さな地形の変化による影響が十分に表れていない場合があります。  
 ●河川及び浸水地は着色していません。  
 ※河川はん流とは、河川水位の上昇により、河川堤防の崩壊から流出した水が河川に浸水できない人、人がいる場所から河川に浸水することです。

**浸水想定区域** 浸水想定が深い場所ほど注意が必要です。

**危険度**

- 5.0m以上の区域
- 3.0-5.0m未満の区域
- 1.0-3.0m未満の区域
- 0.5-1.0m未満の区域
- 0.3-0.5m未満の区域
- 0.3m未満の区域

**土砂災害防止法に基づく土砂災害警戒区域等**

- 土砂災害特別警戒区域(急傾斜地)
- 土砂災害警戒区域(急傾斜地)
- 土砂災害特別警戒区域(土石流)
- 土砂災害警戒区域(土石流)
- 土砂災害警戒区域(地すべり)

**凡例**

- 拠点避難所
- 指定避難所
- 福祉避難所
- 水位観測所・危機管理型水位計
- 浸水想定区域内等の避難所
- 土砂災害警戒区域内等の避難所

洪水浸水深凡例	避難行動
浸水想定区域外	このハザードマップでは浸水想定区域外であるが、他のハザードマップで浸水が想定されている可能性があることに注意する。
浸水が想定されるおそれのある区域	床上・床下浸水が想定されることから、立退き避難が難しいが、浸水に応じて、自ら判断して避難行動を要する。
浸水が深くなるおそれのある区域	床上・床下浸水が想定されることから、立退き避難が難しいが、浸水に応じて、自ら判断して避難行動を要する。
浸水が最も深くなるおそれのある区域	床上・床下浸水が想定されることから、立退き避難が難しいが、浸水に応じて、自ら判断して避難行動を要する。

## 避難所一覧

**1 一時立寄所 (自治会等が指定)** ●

自主防災組織や自治会組織などの行う自主避難や避難準備体制のための住民参集(集合)拠点。原則として、一時立寄所では救助活動は行いません。

自治会名	集合場所	住所
山畑区	山畑農事集会所	山畑1090
川東区	川東多目的集会所	川東1654
川西区	川西公民館	川西527
西之澤区	ふれあい広場	西之澤敷2582
希望ヶ丘区	希望ヶ丘いきがセンター	希望ヶ丘西4-5-26
川西青葉台区	川西青葉台集会所	川西青葉台841-3
春日丘区	春日丘公民館	川東3471-3

**2 拠点避難所 (市の指定)** ●

各住民自治支援単位に1箇所以上を指定し、区域内における指定避難所を総括する拠点として、防災備蓄コンテナ、防災行政無線等の重点配備をしている公共施設等の場所。(災害ボランティアの受入を可能とする現地ボランティアセンター機能)

名称	住所	電話番号
壬生野小学校	伊賀市川東1786-3	45-3054

**3 指定避難所 (市の指定)** ●

避難情報に対応して住民が参集し、その場所でコミュニティによる避難所運営を可能とする公共施設等の場所。(災害ボランティアの受入を可能とする現地ボランティアセンター機能)

名称	住所	電話番号
あけぼの学園高等学校	伊賀市川東412	45-3050
壬生野保育園	伊賀市川東2652	45-3179
希望ヶ丘いきがセンター	伊賀市希望ヶ丘西四丁目5-26	45-4001
希望ヶ丘コミュニティセンター	伊賀市希望ヶ丘西三丁目2-20	45-5777
希望ヶ丘保育園	伊賀市希望ヶ丘西四丁目5-30	45-7111

**4 福祉避難所 (市の指定)** ●

本庁および各支所単位に1箇所以上設置し、指定避難所および拠点避難所での受入れが困難な要介護高齢者や障がい者等が利用できる医療施設および福祉施設等の場所。

名称	住所	電話番号
いがまち保健福祉センター	伊賀市愛田513	45-3050
きらめき工房いが	伊賀市愛田513	45-9040
特別養護老人ホームいがの里	伊賀市愛田500	45-8875

**5段階の警戒レベルと防災気象情報**

警戒レベル	住民が取るべき行動	市からの避難情報	気象庁などの情報	相当する警戒レベル	
5	命の危険 直ちに安全確保! すでに安全な避難ができません。命が危険な状況。いままいる場所よりも安全な場所へ直ちに移動する。	緊急安全確保 ※必ず避難してください	大雨特別警戒	氾濫発生情報	5
4	過去の重大な災害発生時に匹敵する状況。この段階までに避難を完了しておく。 台風などにより範囲が予想される場合は、暴風が吹き始める前に避難を完了しておく。	避難指示	土砂災害警戒情報 高潮警報 高潮特別警報	極めて危険 非常危険 危険情報	4
3	危険な場所から高齢者等は速やかに避難 高齢者等以外の人も必要に応じて、直前の行動を自らが決めたり、避難の準備をしたり、自主的に避難する。	高齢者等避難	大雨警報 洪水警報	警戒(無警戒) 氾濫警戒情報	3
2	自らの避難行動を確認 ハザードマップ等により、自宅等の災害リスクを再確認するとともに、避難情報の把握手段を再確認するなど。		大雨警報 大雨注意報 高潮注意報	注意(注意情報) 氾濫注意情報	2
1	災害への心構えを高める		早期注意情報(警戒レベルの可能性)		1

《警戒レベル4までに必ず避難を!》

この地図は三重県市町総合防災センターの委託で、同センターが「2017三重県市町デジタル地籍(数値地形図縮尺10,000)」を使用し、調整したものである。(承認番号:三総地籍144号)本成果を複製あるいは使用して地図を制作する場合は、同センターの承認を要する。

# 壬生野地域防災通信

壬生野地域まちづくり協議会

## 壬生野地域の防災活動のふりかえり

2020年度～2022年度の3ヶ年にわたり、地域の防災力や災害対応力の向上、地域間の連携、地域の連帯感の強化を目的に、防災への取り組みを行ってきました。

### 2020年度の取り組み

- ・防災講演会（三重大学川口准教授）“3ヶ年事業のキックオフ講演会”
- ・視察研修（和歌山県土砂災害啓発センター） ・図上訓練（DIG）

### 2021年度の取り組み

- ・防災講演会（三重大学川口准教授） ・防災訓練（安否確認訓練・情報伝達訓練 避難訓練・避難所運営訓練）

### 2022年度の取り組み

## 7月9日（土）視察研修（浜郷地区、伊勢市防災センター）

災害時における『自助・共助・公助』のあり方を再確認できた視察でした。

## 7月23日（土）壬生野地域防災講演会



三重大学の川口准教授による講演

『災害に強い地域づくり』

『災害に強い地域づくり』と題して、壬生野小学校にてご講演いただきました。2022年度の壬生野地域の防災の取組への意識向上を図ることを目的とした防災講演会でした！

## 壬生野地域総合防災訓練会議などの開催

伊賀市と合同で開催した壬生野地域防災訓練の企画や事前研修、地域防災マニュアルや安否確認シートの検討など、防災小委員会6回、訓練打合せ会議6回、研修会3回開催しました。



訓練でやりたいことの見え方を  
出しました。

- 安否確認
- 情報伝達・共有方法
- 避難所運営 など

壬生野地域の防災の課題につ  
いて意見を出しました。

- 防災意識・防災力
- 次世代への引継ぎ など

## 11月6日（日）壬生野地域防災訓練（伊賀市と合同開催）



2022(令和4)年度  
伊賀市総合防災訓練  
11月6日（日）9時30分～開会式  
※雨天中止

### 訓練会場

壬生野地域全体：住民主体訓練（安否確認、避難）

伊賀市立壬生野小学校

運動場：救出訓練、消火訓練

災害体験（地震車、煙道）

自衛隊車両、客車車両、消防車両の展示

体育館：避難所開設・設営訓練、救護訓練

自衛隊災害活動/車内、防災/車内の展示

※本年度の訓練は、壬生野地域まちづくり協議会との合同開催です。



防災訓練チラシ



壬生野地域総合防災訓練情報【訓練開始】

この情報は訓練情報です。

11月6日（日）午前6時50分、壬生野地域をはじめ、伊賀市の大部分の地域において震度5強を観測する南海トラフ地震が発生しました。

伊賀市では、同時に災害対策本部が設置され、市内の一部で停電及び断水が発生している様態との情報があります。

壬生野地域では、午前7時に壬生野地区市民センターに壬生野地域災害対策本部を設置しました。各自治会においては周囲の状況に注

伊賀市防災・情報アプリ（HAZARDON）による情報発信訓練



壬生野地域災害対策本部訓練



自主防災組織による安否確認訓練



消防団 倒壊家屋救出訓練



避難所開設訓練



救出救護訓練



避難所設営訓練

地域や小学校、市、関係機関が連携した訓練を実施できました。また、訓練までの過程においても地域全体で防災について考えることができ、自助・共助の力を高めることができた訓練となりました。引き続き、壬生野地域の防災力・コミュニティカ向上を図るため、訓練を実施していきます！



起震車体験

地域連携を密に！継続した訓練の実施！  
災害に強い壬生野地域を目指す！

# 壬生野地域防災訓練を振り返って

壬生野地域防災訓練後にアンケートを行いました。

## ①3ヶ年における防災への取り組みについてどうでしたか？

- ・防災についての認識を高めることができた。
- ・日頃からの意識が大切なので継続して行くべき。
- ・壬生野全域で訓練を行うことは、災害時に活かされると感じた。
- ・壬生野全域において実施できたことが大きな成果であり、その中から安否確認シートや普段の地域福祉の大切さを確認できた。

## ②伊賀市との合同による壬生野地域防災訓練はどうでしたか？

- ・伊賀市と合同で実施したことで、壬生野全域での充実した訓練が実施できた。
- ・各班に分かれての訓練はよかった。
- ・もう少し地区からの参加を多くし、幅広く知ってもらうことが必要。

## ③今後、防災（訓練）活動をどうすればいいですか？

- ・お年寄りや一人暮らしの人たちのケアを地域で考える必要がある！
- ・毎年訓練を実施し、より多くの人に体験してもらうことが大事。
- ・訓練の参加者を増やすことで、多くの人に防災意識が身につく。
- ・各区での防災訓練だけでなく、今回のように壬生野地域全体で実施すると、より効果的な訓練ができると思う。

## ④防災に関する意見

- ・防災の共通認識を高めるために、防災に関する資料を配布することも必要。
- ・地域内での防災資材の備蓄をしておく必要がある。

これからも防災意識を高めていきましょう！！



# 3ヶ年の取り組みの成果！

壬生野地域で統一した安否確認・避難支援登録シートを作成！

氏名	住所	電話番号	備考
山田 太郎	〒119-0101 東京都荒川区西日暮里1-1-1	03-1234-5678	
田中 花子	〒119-0101 東京都荒川区西日暮里1-1-1	03-1234-5679	
佐藤 一郎	〒119-0101 東京都荒川区西日暮里1-1-1	03-1234-5680	
鈴木 美咲	〒119-0101 東京都荒川区西日暮里1-1-1	03-1234-5681	
高橋 健太	〒119-0101 東京都荒川区西日暮里1-1-1	03-1234-5682	
橋本 由美	〒119-0101 東京都荒川区西日暮里1-1-1	03-1234-5683	
石川 大輔	〒119-0101 東京都荒川区西日暮里1-1-1	03-1234-5684	
渡辺 真由	〒119-0101 東京都荒川区西日暮里1-1-1	03-1234-5685	
山崎 拓也	〒119-0101 東京都荒川区西日暮里1-1-1	03-1234-5686	
水野 結衣	〒119-0101 東京都荒川区西日暮里1-1-1	03-1234-5687	
森田 悠太	〒119-0101 東京都荒川区西日暮里1-1-1	03-1234-5688	
山口 千尋	〒119-0101 東京都荒川区西日暮里1-1-1	03-1234-5689	
松本 健一	〒119-0101 東京都荒川区西日暮里1-1-1	03-1234-5690	
伊藤 美穂	〒119-0101 東京都荒川区西日暮里1-1-1	03-1234-5691	
高木 大輔	〒119-0101 東京都荒川区西日暮里1-1-1	03-1234-5692	
岡田 真由	〒119-0101 東京都荒川区西日暮里1-1-1	03-1234-5693	
森田 悠太	〒119-0101 東京都荒川区西日暮里1-1-1	03-1234-5694	
山口 千尋	〒119-0101 東京都荒川区西日暮里1-1-1	03-1234-5695	
松本 健一	〒119-0101 東京都荒川区西日暮里1-1-1	03-1234-5696	
伊藤 美穂	〒119-0101 東京都荒川区西日暮里1-1-1	03-1234-5697	
高木 大輔	〒119-0101 東京都荒川区西日暮里1-1-1	03-1234-5698	
岡田 真由	〒119-0101 東京都荒川区西日暮里1-1-1	03-1234-5699	

災害時に安否確認を効率よく行うことや、支援が必要な方の把握をするため、壬生野地域まちづくり協議会で統一した安否確認・避難支援登録シートを作成しました。

## 壬生野地域防災マニュアル【避難編】の作成！



2020年度～2022年度の3ヶ年で行ってきた防災への取り組みを通して学んだこと、体験したことをまとめた「壬生野地域防災マニュアル【避難編】」を作成しました。今後も継続して防災活動に取り組み、壬生野地域の防災マニュアルを作成していきます。どんな災害が起こっても、壬生野地域の住民全員が助かるように、みんなで力を合わせて頑張りましょう！

## 2023年度の取り組み！

- 壬生野地域防災マニュアル（自主防災組織編）の作成！
- 避難所運営マニュアルの作成！
- 幼少期からの防災教育！（小学校・消防団・地域との連携事業）

# 壬生野地域防災マニュアル VOL.1 【避難編】

## 日頃の備え（地域を知ること、情報・備蓄品を備える）

◎安否確認シートを作成し自治会に提出しておく。

毎年、自治会から照会のある“安否確認・避難支援登録シート”に家族の状況を記す。

（\*非常時の家族の連絡先や身体状況など支援を必要とする情報を記入する。）

◎地域の避難場所や危険場所を観察しておく。

各家庭において、毎年、自治会で組織する自主防災組織の体制を確認するとともに、各組集合場所及び一時立寄り所までの避難経路を熟知しておく。

（\*地域のイベントや集会などを通して、地域の安全に役立つ情報を取得しておく。）

◎伊賀市防災・情報アプリ（ハザードン）を登録しておく。

伊賀市防災・情報アプリは緊急災害情報に加え気象情報、地震情報、土砂災害情報、火災情報、行政情報のほか壬生野地域まちづくり協議会や各自治会からの情報などが取得できます。（\*ハザードンの登録方法は市から各戸配布済みです。）

◎災害に備えておくこと。

●備蓄品や非常持ち出し品を準備しておく。

食料品、衣類、感染対策品、日用品・簡易トイレや安全対策などの生活必需品を用意しておく。

●各家庭で最低3日間（出来れば1週間）過ごせるよう、飲料水（1人1日3ℓ）や食料等を備蓄しておく。

●大型家具などを固定して、屋内スペースの安全をキープする。



## 災害が発生したら（あなたの避難行動を考えましょう）

### （避難のタイミング）

#### 警戒レベル 1

災害への心構えを高めましょう

#### 警戒レベル 2

避難に備え、ハザードマップ等により自らの避難行動を確認しましょう。

#### 警戒レベル 3 高齢者等避難

避難に時間を要する人（高齢の方、障害のある方、乳幼児等）とその支援者は避難を開始しましょう。その他の人は、避難の準備を整えましょう。

#### 警戒レベル 4 避難指示

速やかに避難先へ避難しましょう。避難先までの移動が危険と思われる場合は、近くの安全な場所や自宅内の安全な場所に避難しましょう。

#### 警戒レベル 5 緊急安全確保

既に災害が発生している状況です。命を守るための最善の行動をとりましょう。



## 自治会での災害対策（住民の避難支援準備）

◎一時立寄り所の役割 < 自主防災組織（区長・民生委員を含む） >

- 自治会内の被災状況を取りまとめる。  
 道路・河川・橋梁などの土木施設。  
 ため池・排水路・用水路・農地などの農業用施設。  
 住宅・倉庫などの建築施設。
- 住民の安全を確認する（安否確認シートに記載の方の居場所を特定する）  
 自治会内で安否確認を行います。（避難支援は必要か？）



- 避難支援登録者の避難場所を選定する。  
 自宅避難が可能な状態か？  
 一時立寄り所での避難が可能なか？  
 災害対策本部に拠点避難所の開設を要望するか？
- 避難所への住民の輸送方法を考える。  
 自力で避難が可能な世帯の輸送方法を考えておく。  
 移送に支援を要する世帯の輸送方法を考えておく。

## 災害対策本部会議（地域全体での受入れ準備）

（組織の構成）

壬生野地域まちづくり協議会役員（区長を含む）・消防団幹部・壬生野小学校長  
 市との連絡調整・・・地区市民センター配備職員（市の配備基準により配置）

\* 壬生野地域各自主防災組織（区長・民生委員を含む）及び消防団と連携

（協議内容）

- 被害状況の取りまとめ（救援・救助の要請、倒壊家屋・インフラ復旧の要請）
- 避難所の開設・受入れ（開設準備・受入れ開始時刻・受入れ方法）
- 救援物資等の要請（避難所運営物資・食料など）

## 拠点避難所の開設

◎拠点避難所運営本部の設置

本部長…まち協会長 副本部長…壬生野小学校長・まち協副会長

事務局長…まち協地域安全部会長 各班長…まち協副会長・各自主防からの派遣者

◎拠点避難所での受付（避難者カードの活用）

①一次受付…感染状況・健康状態のチェック

②二次受付…自治会別に受付（居場所確認）



見本

\* 避難所には避難者カードをお持ちください。

避難者カード				特記事項（病歴・アレルギー・薬など）	
名前					
住所					
連絡先					
年齢	性別	男	女	他	
自治会名				住居可否	可・全壊・半壊・一部損壊・床上浸水・床下浸水
				ライフライン	断水・停電・ガス停止



**秘 安否確認・避難支援登録シート**

令和 年 4 月 1 日 現在

区 長 様

私は、災害発生時に避難支援などで地域の援助を受けることを希望するため、下記の情報を提供することに同意します。

令和 年 月 日 世帯主住所

名前



電話番号(自宅)

(携帯)

区 組 班

No.	(ふりがな) 名前 (必須記入)	続柄	性別	年齢	日中の連絡先 (自宅以外) (児童・生徒等の場合は学校名・学年を記入)		支援 有無	支援を必要とする内容(身体症状などを記入)
1		世帯主 (本人)	男・女 その他		連絡先 電 話	(固定) (携帯)	有 無	
2			男・女 その他		連絡先 電 話	(固定) (携帯)	有 無	
3			男・女 その他		連絡先 電 話	(固定) (携帯)	有 無	
4			男・女 その他		連絡先 電 話	(固定) (携帯)	有 無	
5			男・女 その他		連絡先 電 話	(固定) (携帯)	有 無	
6			男・女 その他		連絡先 電 話	(固定) (携帯)	有 無	
7			男・女 その他		連絡先 電 話	(固定) (携帯)	有 無	
8			男・女 その他		連絡先 電 話	(固定) (携帯)	有 無	

No	名前 (別居家族)	続柄	年齢	連絡先住所・電話番号 (携帯)、施設入所者は入所施設名等を記入
1				
2				

特記 事項	親戚・兄弟姉妹等で最優先で連絡する人の名前、住所、連絡先、電話	防災上役立つ資格・特技と取得者

※ 差し支えない範囲で出来る限り記入してください。

# 壬生野地域防災マニュアル VOL.2【自主防災組織編】

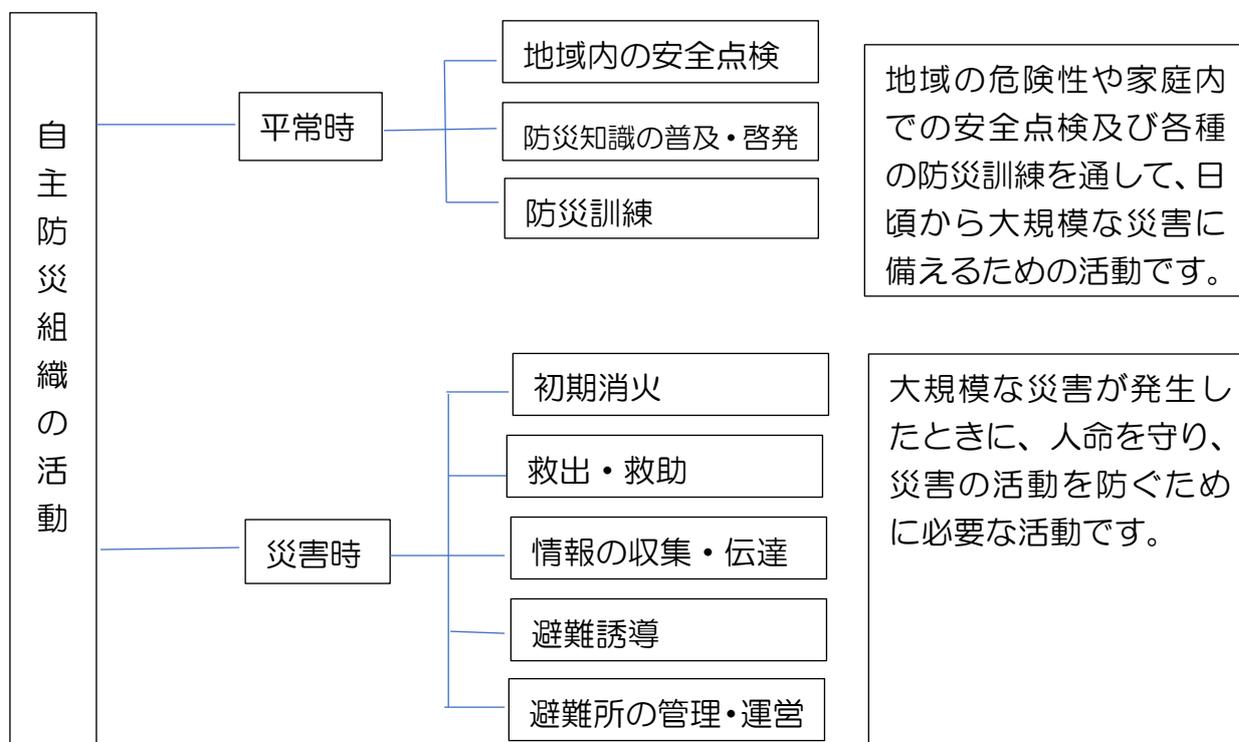
## 1. 自主防災組織の必要性

東海地震のような大地震から自分や家族の命を守るためには、さまざまな災害発生に備え、普段から十分な対策を講じておかななくてはなりません。しかし、ひとたび大地震が発生すると、災害拡大を防ぐためには、個人や家族の力だけでは限界があり、危険や困難を伴う場合があります。このような時、毎日顔を合わせている隣近所の人たちが集まって、互いに協力し合いながら、防災活動に組織的に取り組むことが必要です。

災害発生時はもちろん、日頃から地域の皆さんと一緒に、防災活動に取り組むための組織、これが「自主防災組織」です。

## 2. 自主防災組織の役割

自主防災組織は、大規模な災害が発生した際、地域住民が的確に行動し被害を最小限に止めるため、日頃から地域の安全点検や住民への防災知識の普及・啓発、防災訓練の実施など地震被害に対する備えを行い、また、実際に地震が発生した際には、初期消火活動、被災者の救出・救助、情報の収集や避難所の運営といった活動を行うなど、非常に重要な役割を担っています。



### 3. 自主防災組織とはどんな組織か

自主防災組織は、基本的に会長・副会長・防災委員を中心とした組織体制で下図のような役割分担の班構成となっています。訓練を通じて必要な見直しを行いながら、地域の実情に応じた適切な組織体制としてください。また、災害時には、計画どおりことが運ぶ訳ではないので臨機応変に弾力的な運用や指揮命令ができるよう対策を考えておきましょう。



<div style="display: flex; flex-direction: column; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">会長</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">副会長</div> </div>					
総務班	情報班	消火班	救助班	避難誘導班	給食給水班
班名	平常時の活動		災害時の活動		
総務班	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 防災委員（各班）の人材確保</li> <li>• 防災訓練の企画運営</li> <li>• 各班に該当しない業務</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>• 防災委員（各班）の招集</li> <li>• 災害対策会議の実施</li> <li>• 関係機関との連絡調整</li> </ul>		
情報班	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 防火防災意識の普及高揚</li> <li>• 防災マップの作製</li> <li>• 情報収集伝達訓練</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>• 災害情報の伝達</li> <li>• 被害状況の把握</li> <li>• 防災関係機関等との緊急連絡</li> </ul>		
消火班	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 各家庭への安全対策の呼びかけ</li> <li>• 初期消火の協力体制づくり</li> <li>• 消火訓練</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>• 消火体制の確立</li> <li>• 近隣事業所との連携</li> <li>• 消防機関への協力</li> </ul>		
救助班	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 救出・救護訓練</li> <li>• 医療機関との協力体制の確保</li> <li>• 要介護者の把握</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>• 負傷者等の把握</li> <li>• 救出・救護活動</li> <li>• 医療機関等への搬送</li> </ul>		
避難誘導班	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 防災マップによる危険箇所の現状把握</li> <li>• 避難場所・経路等の周知</li> <li>• 避難誘導訓練</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>• 避難経路の安全確認</li> <li>• 避難誘導</li> <li>• 避難場所における混乱防止</li> </ul>		
給食給水班	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 給食資機材の確保</li> <li>• 給水拠点等の把握</li> <li>• 炊出し訓練</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>• 給食物資等の調達と配分</li> <li>• 炊出し</li> </ul>		

- \* 自主防災組織各班に班長を設け、会長の指示に基づき各班と連携して業務にあたること。
- \* 消防団員は、非常時には災害対策本部の指示により活動するため、各自治会自主防災会の防災委員（班員）としないこと。
- \* 拠点避難所開設時には、各自治会自主防災組織の救助班及び給食給水班から各自治会3名程度の招集を行います。尚、拠点避難所混雑時には避難誘導班も同様に招集します。

### 4. リーダーとして行うべきこと

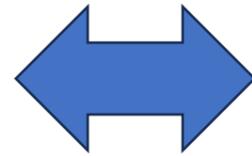
自主防災組織のリーダーは、自らが防災に関する基本的な知識や技術を身につけるとともに、地域の安全点検、防災知識の普及、防災資器材の整備、危険が予想される箇所や自力で避難することが困難な災害弱者の把握、防災訓練の指導などを行い、日頃から住民の防災意識を高めることに努めます。

- (ア) 各種台帳の点検・整備
  - 自主防災組織台帳、安否確認・避難支援登録シート、人材台帳などの更新・保管
- (イ) 防災資器材の点検・整備
  - 防災委員全員で定期的な点検と取扱い方法の習熟を行うこと

# 壬生野地域自主防災組織図【2024(令和6年)度制定】

## 伊賀市災害対策本部

- 本部長（市長）
- 防災危機対策局
- 伊賀支所
- 市民センター配備職員
- 伊賀市消防本部



## 壬生野地域自主防災会（壬生野地域まちづくり協議会）

### 災害対策本部会議

- 本部長（まち協会長）
- 自主防災会実行委員長（まち協副会長）
- まち協三役、各区長（自治会連絡調整）
- 市消防団伊賀分団役員（消防団連携）
- 壬生野小学校長（拠点避難所開設）
- 防災士 など

### 壬生野地域自主防災会

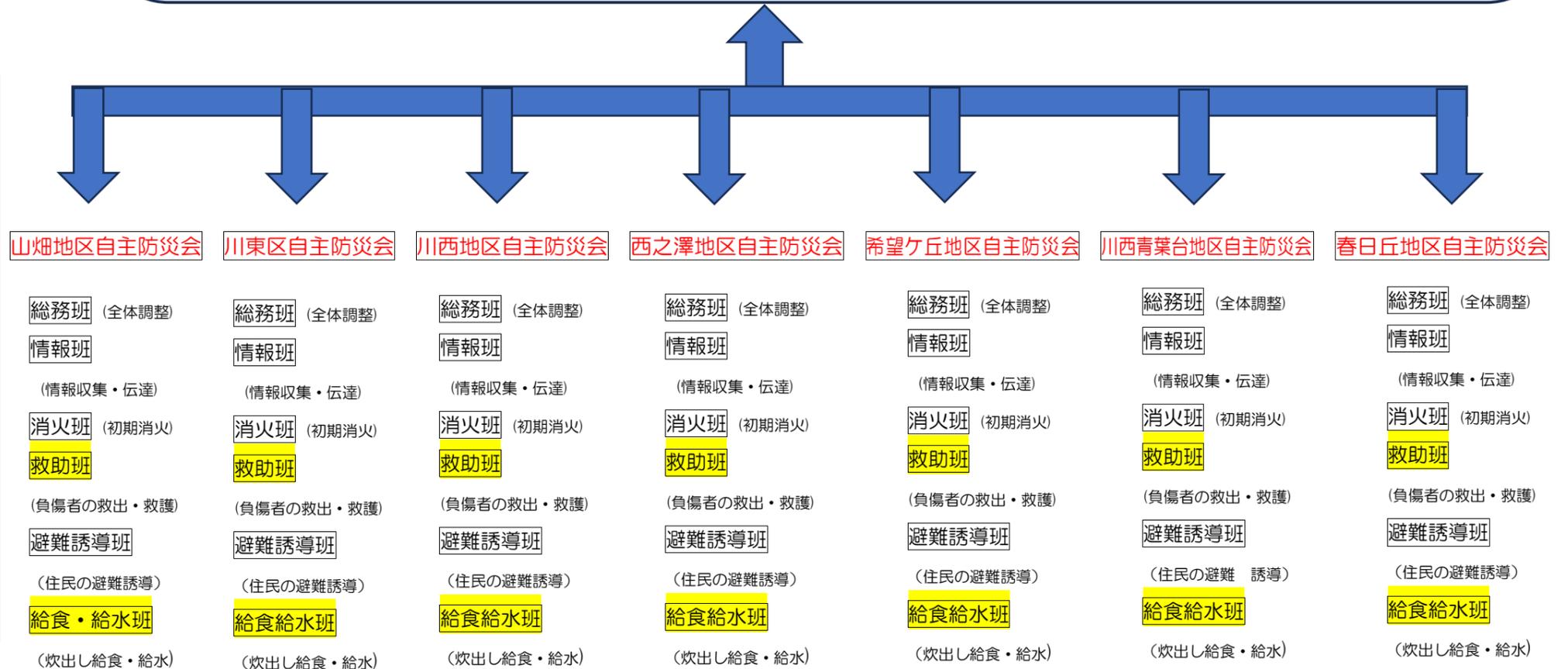
- 総務班（全体調整・災害対策本部会議・各班に該当しない業務）
- 情報班（状況把握・情報伝達・関係機関との緊急連絡）
- 救助班（負傷者把握・救出救護活動・医療機関への搬送）
- 給食給水班（水・食料等の仕分け、炊出し）

\*まち協運営委員は壬生野自主防災会リーダーの任にあたる

\*各自主防災会の救助班、給食給水班は壬生野自主防災会の任にあたる

### 防災資機材等の整備例

目的	防災資機材
①情報収集・伝達用	防災無線機、電池メガホン、携帯用ラジオ、腕章、住宅地図、模造紙、メモ帳、筆記用具等
②初期消火用	可搬式動力ポンプ、消火器、簡易防火水槽、ホース、防火衣、ヘルメット、水バケツ、防火井戸等
③水防用	防水シート、土のう、杭、スコップ、かけや等
④救出用	パール、はしご、のこぎり、スコップ、ジャッキ、なた、ハンマー、ロープ、防煙防塵マスク等
⑤救護用	担架、救急箱、テント、毛布、簡易ベッド等
⑥避難所・避難用	リヤカー、車いす用避難器具、発電機、投光器、標識版、強力ライト、簡易トイレ、寝袋等
⑦給食・給水用	炊飯装置、鍋、こんろ、ガスボンベ、給水タンク、緊急用ろ水装置、飲料用水槽等
⑧訓練・防火教育用	模擬消火訓練装置、放送機器、組み立て式水槽、視聴覚機器、訓練用消火器等
⑨その他	簡易資材倉庫、ビニールシート、携帯電話用充電器



## 4. リーダーとして行うべきこと

### (ウ) 避難生活計画書の点検・整備

大地震発生時には多くの避難者が発生し大混乱となることが予測されます。避難生活を秩序良く運営するためには、あらかじめ避難生活計画書を作成しておく必要があります。避難生活は複数の自主防災組織が集まって営まれるため、同じ被災地に避難する組織同士でよく話し合い、協力して避難生活計画書の作成を行う必要があります。